



日本財団 助成事業
The Nippon Foundation
船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

開館五周年記念特別展

海を渡った キリスト教

—東西信仰の諸相—



2010.11.2[火] ~ 12.11[土]

時間 10:00~18:00(入館は17:30まで) ※日曜休館

会場 西南学院大学博物館1階特別展室、2階講堂

入場料 無料

協力 船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

海路を通じてもたらされたキリスト教。
伝来から繁栄、厳しい弾圧と250年もの潜伏—
そして奇跡の復活というキリスト教布教の歴史。
いま実像に迫るキリスト教信仰の世界。

—第8回—
特別展関連公開講演会

《事前予約不要・入場無料》

期日 2010年11月6日(土) 時間 14:00~16:00

会場 大学博物館(ドージャー記念館)2階 講堂

講師 清水紘一氏(中央大学文学部元教授・中央大学人文科学研究所客員研究員)

演題 「博多と秀吉の天正禁教令をめぐって」

西南学院大学博物館

博物館事務室 TEL.092-823-4785 〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
URL www.seinan-gu.ac.jp/museum/

西南学院大学



海を渡った キリスト教

—東西信仰の諸相—

2010.
11.2^[火]~12.11^[土]

時間 10:00~18:00(入館は17:30まで) ※日曜休館

会場 西南学院大学博物館1階特別展室、2階講堂

九州をはじめ各地域へ広まります。

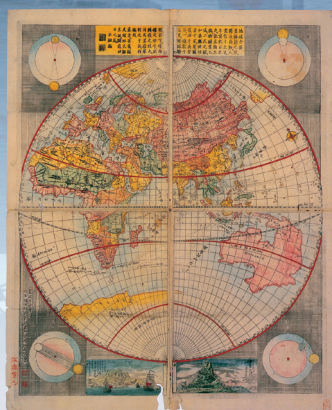
一方フィリピンでは、1521年にスペイン国王に派遣されたマゼランがフィリピン諸島に到着し、ローマ・カトリックのミサがおこなわれます。日本ではキリスト教禁教政策がすすめられました。フィリピンでは植民地政策のなかで、布教が展開されました。

このように、海を通じてもたらされたキリスト教はアジアを中心とした非西欧圏の人々にどのように受け入れられたのか、その実像に迫ります。なお、本学博物館は来年5月に開館5周年をむかえるにあたり、その記念特別展として本展覧会を開催いたします。

日本は鎖国以前、外国と交易し、貿易による富を得て発展してきました。交易国であるポルトガル船やスペイン船を通じてもたらされたキリスト教文化は、当時の人たちに浸透し、定着していきました。日本では1549年にフランシスコ・ザビエルが来航して以来、

I 海路を通じて ・~外国船が もたらしたもの

四面を海で囲まれた日本は、船舶を通じて文物や文化をはじめ、新しい知識や思想がもたらされました。ここでは天文・科学の分野からその一例を紹介します。



地球全図(京都大学附属図書館蔵)



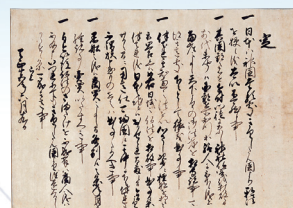
遠眼鏡
(神戸大学海事科学部海事博物館蔵)

II 日本のキリスト教 ・~信仰と弾圧、そして復活へ

フランシスコ・ザビエルが来航して以降、日本にキリスト教が広まり、町には西洋文化の彩りがあふれます。しかし、これも長続きせず、豊臣秀吉による伴天連追放令にはじまり、江戸時代になると絵踏みなどによる禁教政策が展開されました。こうしたなかでもキリスト教はひそかに信仰され、そして復活の時代を迎えるのでした。



救世主像
(東京大学総合博物館蔵)



キリシタン禁制定書(長崎県指定文化財)
(松浦史料博物館)



聖母子着彩メダイ
(平戸市生月町博物館・島の館蔵)

III 非西欧圏のキリスト教 ・~イメージの具象化

西欧で生まれたキリスト教はフィリピンをはじめ、中国、エチオピア、メキシコなどにも広がっています。歴史的背景の異なる国々で、キリスト教はいかに受容されていったのか。具象化されたその姿に迫ります。



聖バスカリス祈祷画
(西南学院大学博物館蔵)



景教僧文青磁壺
(西南学院大学博物館蔵)

IV 現存する ・キリシタン書物

長崎浦上村のキリシタンが所持していた書物は浦上崩れなどで多数没収され、復活の時代を迎えた彼らは新しい教書を求めていきました。こうした教会暦や教書の類は当時のキリシタンの息吹を感じることができます。



御十字架之道行
(清水紘一氏蔵)



御みさのおらしよ
(清水紘一氏蔵)